



社会福祉法人

熊本いのちの電話

KUMAMOTO INOCHINODENWA

通信 54号 平成28年4月号

開局30周年記念講演

厚生労働省平成27年度自殺対策補助事業



「いのちをつなぐ言葉の力」

講師 葉 祥明氏

(絵本作家・画家・詩人)

2015.10.12

くまもと森都心プラザホール

● 読む心のくすり

僕の本は、読む心のくすりと称していきまして、症状に合わせて本を読んでいただくこととなっています。『海からの風』は3.11の津波、地震、原発事故のあとに出版されました。そういうすさまじい出来事が起こると、多くの人の心にぽっかりと穴があきます。足元が崩れます。「なんだろう、これは大変だ」ディープインパクトと僕は言っております。そのディープインパクトを機会に、物事を、人生を、いのちを、それから家族や愛、生きているということを深く考える良い機会になります。『キツネのフーくと風の郵便屋さん』これは僕の弟（童話作家）と絵描きとしての僕がコラボレーションした新作です。『WORDS AND VERSE』ワーズは言葉、バースは息吹です。優しい一言が人を救う。前向きな言葉をかけられると元気も出てくる。言葉は人を生かし、時に破滅に導きます。言葉をもっと大切にしたいと思っています。

『無理しない』は、自殺者が最も多かった当時、緊急出版しました。3万人以上、今もだいたいそのくらいですが、もっと多かった。無理しないで！とほんとに言いたかったんです。この無理しない、という言葉は大変重要な言葉です。理がない。理、と

いうのは仕組み、ことわり、物事の当然の原因と結果。それが無い、スジがない、ということ。仕事でも対人関係でも経済的なことでも、もうだめだ、と思うとき、これは無理があったということ自分を気づかなければならない。ドクターストップをかける前に、自分でドクターストップをかける。これ以上はできない、これ以上は無理だと。それをこの本の中では無理しない、無理しない、無理しないと何十回も繰り返しております。

なににしない、のシリーズをたくさん出してあります。これは法然上人の「南無阿弥陀仏」と同じです。物理的效果をねらっています。法然上人は、「南無阿弥陀仏南無阿弥陀仏・・・」と何千回何万回何十万回と唱えれば極楽浄土に往生できます、ということ言ったわけですが、これは科学的に正しい。サブリミナル効果といいますか、リピート効果といいますか、広告宣伝もそうです。これは体に効く、これは体に効く、を十回聞いたのでは効かない。しかし百回、千回、一万回、これが体に効きまると言われると、これが本当に体に効く、と思うようになります。細胞レベルまでそうなっちゃいます。そうすると本当に効く。悪いこともそうですがこれは要注意。

通信54号 目次

記念講演 P1 感謝報告 P6 活動報告 P6

相談電話 096・353・4343

『気にしない』他人が失敗した、怒りたい、けどそれも気にしない、自分が失敗した、ああ、と思うけど、気にしない。自分に対して他人に対しても気にしない、ということが健やかに生きていくための大切な心構え、心の在りかたです。

『比べない』この社会は競争社会。強いか弱いか、美しいか美しくないか、大きいか小さいか、こういう二元論で比較する。認識の方法としては非常に解りやすい。高校野球は1校だけが甲子園で優勝して、その他全員が負け。けどそれを「いいんだよそれで、楽しんだんじゃないか、生きることを、野球をすることを」と、全員が楽しめばいいんだということなんです。

『急がない』もそうです。子どものころから母親に急げ急げと言われる。学校の先生からもそうです。そうすると慌てる。ついていける子はいいけど、自分のペースがあるとついていけない。ですから、急がない急がせない。自分と他人に対しての心の戒めです。

● いのちをあきらめない

『母親というものは』は、リリーフランキーさんが「東京タワー」という大ベストセラーの中で、詩を引用していました。母親というものは実に本当に無欲なものです。だから母親を泣かすのはこの世で一番いけないことなのです。そういう思いがその人を立ち止まらせてくれる。よく言われることですが、あのアドルフ・ヒトラーは幼い時に母親を亡くしました。だから母親の大きな愛を知らなかった。彼は青年になって美術学校の受験にも失敗します。当時のドイツの第一次世界大戦後の国民的苦しみと、母親を失い、絵の好きな資質が否定された自分個人の苦しみが一体化して、あのような結果が生まれたということもあると思います。母親が生きて愛してくれて、アドルフ、アドルフと優しく見守ってくれたら、画家になれたら、あのヒトラーは生まれなかったのではないか、というように思います。

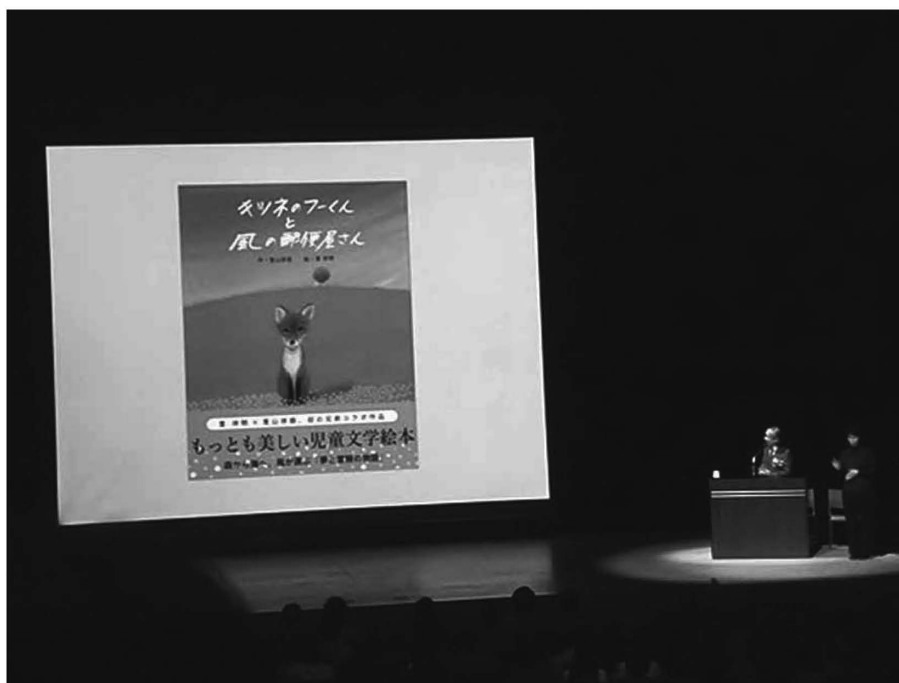
僕はたくさんワーズ&パースを何百、何千と書いてきて、今日も、飛行機の中で書いておりました。こういうノートが何十冊、何百冊となって、それらを100集めて、『100の知恵』という本を去年出しました。草木がその成長を決してやめないように、毎日毎日成長しよう、昨日よりは今日、今日よりは明日、と少しずつでも成長しよう、人は常に成長の途中にあると。これは別に10代や20代の若者にとどまらない。50代中年、60代70代後期高齢者、あるいは80、90、そういう方々も人間が人間

である限り、常に成長の途中なんです。この世を去った後でも魂の成長は心がければ続いていく。そして再び生まれ変わって、その到達した時点から新たな人生で成長していく。人の魂というのは常に永遠に成長をし続けている。というのが僕の考え方です。



さまざまな人に向けてメッセージを送っているんですが、『17歳に贈る人生哲学』は思春期の方々を念頭に置いています。12歳から21、2歳までは思春期だと思っております。思春期とは「自分はなんだろう、何のために生きているんだろう」というようなことを考えます。それは実は古代ギリシャの人も考えました。哲学です。自分は人と違う、人は自分と違う、それぞれが唯一無二の存在で、それぞれ考え方、生き方が違う。だから自分で自由の意思をもって選択して生きていくんだよ、と言っています。

『怒らない』というのは全くごく最近。というのは、新聞・テレビ見ますと、世の中でさまざまな犯罪が起こっている。その根底にあるのはなんだろう。そのひとつは怒りです。なんでこうなんだ、なんで自分はこうでないんだ、って怒りが暴力で表現される。怒り。怒りというのをもっともっと冷静に知る必要があります。怒りは必要か不要か。怒りは物事を解決させるかどうか。怒りは確かに問題をあぶりだす。怒ることによって問題がわーと出てきます。でもそのあとが問題。ふりあげた拳はどこに向かう、相手へか、自分へか、壁を蹴とばすのか。そしていつ下ろせばいい。国家間の戦争でも隣近所との争いごとでも、始めるよりも終わらせるのが難しいというのが、人類の歴史の中での教訓です。だか



らそれは始めなければいいわけです。

10年も20年、30年も誰かを許せない、親が許せない、あいつが許せない、と言っている人、許せない人生を送ってきているからどっかで心がどこかざわめいている。許してしまうと、心がふーっと楽になるのは自分です。相手は変わらない。悪い奴は悪い奴のままですよ。しかし自分は救われるわけです。怒ってばかりでは幸せになれない、幸せになりたかったら怒らないことだと。怒りの種を探すより、幸せの種を探す。幸せの種のいいサンプルが、葉祥明の絵です。

自分も他人も同じ生きるもの同士として、この地球という惑星の中で一緒に生きている、呼吸をしている。自分の呼吸を、吸う、吐く。それも誰かが吸う、吐く。ありがたいことに植物たちが二酸化炭素を吸って酸素を出してくれますが、この地球という惑星の中の大気の中で、同じ息を吸い出している。同じ仲間だということで敵はいない。

そして『いのち あきらめない』これはひとこと「死んじゃ、だめだ」というのが言いたいことです。「いのち あきらめない」ネバーギブアップです。そういう強い、心強い、メッセージを僕は「いのち あきらめない」というやさしい語り口で伝えております。

● 大切に、思いやって

「人は決してひとりだけで生きてはいない。自分のためだけに生きているのでもない。人はみな誰かのために生きているし、誰かのおかげで生きてい

る」という言葉が降ってきました。当たり前のことです。しかしながら、この世の中で苦しんでいる人の多くは、孤立無援、自分が一人で悩んでいる、誰も助けてくれないって思いで生きている。だから追いつめられるのです。そのためにもこのいのちの電話があつて、『ちゃんとあなたの声を聴いていますよ、あなたの存在を知っていますよ』というのは、このいのちの、まさに電話のラインで繋がっている、ということなのです。宗教色が強い時代と世界でしたらば、神様が、ということが言えましたが、日本は現代では宗教的なものよりも、人と人との繋がりが、誰かが自分を見ていてくれる、見守ってくれているということを実感できることで、苦しみや悲しみを耐えられ乗り越えられると思います。

人は他人の体の苦痛と心の苦痛をほんとはわからない。苦痛も苦悩もほんとはその人だけの特別なできごとです。だからこそ想像力と感性を高めて思いやりのところで接しなければならぬ。思いやるというのは、他の存在と一体化するということです。感じとる能力です。それは人間に大いにある。動物の間にもそれはあります。動物と人間の間にもあります。その他を思いやる、あるいは生物と生物だけではない。建物であれマイクであれ、それを思いやることができれば、どんなに素晴らしいか。そうすると、大切にしようという気持ちになります。ほんとに生きていく上で、自分の身の回りにあるもの、そして自分を大切に大切に思いやっていきたいなというように思います。

生きることほど素晴らしいことはなく、また生き

ることほど苦しいことはありません。そんなこと言われなくてもわかってるよと、みなさんおっしゃいます。しかし、人はこの世にいる限り、どんなことがあっても生き続け、生き抜かなければなりません。生きることそれ自体が、あなたがこの世に生まれてきた最初の目的なのだから。生まれてきた、生きているということ、それは生存本能で、存在の第一目的です。そして第二に、人間的な成長、人の親になる、あるいは人を導く、自分の精神を高める、知性を高める、やることいっぱいです。そのように内面の精神の知性の向上は一生の課題です。第二第三第四の重要な目的です。しかしそれは第一があつてのことです。命あつての物种という言葉がありますが、生きてこそです。だからみなさん、生き抜きましょう。生き延びましょう。

青空があり、白い雲があり、丘が広がり、家族がいます、お父さんお母さん、そして赤ちゃんがいます。これは幸せ、平和、安全、よろこび、そういう理念、概念。人類というのはある状態を、理念・概念を、言葉で表現しました。絵は、そういった言葉を出さなくても見ればわかる。何が書いてあるか、心地よさです。地球はこの宇宙にでーんと居座っているのではないです。地球は太陽系の中のひとつの星です。天の川銀河という何千億、何兆という星々の中の星の一つにしか過ぎない。広大に無限の広がりをもつ大宇宙の中に、われわれ人間の存在する星がぼつんと、というのを絵で感じとってもらえれば幸いです。

● 愛というエネルギー

絵と著作物を見ながらお話をしてきました。絵というのは、色彩です。色彩ということは、光の波動です。光のエネルギーをわれわれは色として感じとっている。それが音になると音波。匂いも、触覚も、みんな脳の中で統合されて、これは心地良いな、心地悪いな、と感じます。脳はすごい臓器です。でも臓器の一つです。

人間とは何ぞや。この地球でさまざまなことをやっている、考えている、作り上げている人間とは何ぞや。それは脳であると多くの人が思っていますが、脳は臓器の一つとして、そのスーパーウルトラハイなコンピュータを使っている存在がある。それが、私たち一人ひとりです。それを昔は、魂と言ったり靈魂と言ったりしました。現在では、それを精神と言ったり意識と言ったりします。

意識とは純粋なエネルギーです。物質エネルギーではない。それよりもっと繊細で強力な精神エネ



ギーです。意識、コンシャスといいます。その意識である私が、魂である私が、この肉体を使っています。私はそろそろ69歳というんでそろそろ肉体はあちこちほころびが見えるんですが、意識自体は、年齢は関係ない。

自分自身の存在と、自分のその時々 of 気持ち考えを、エネルギーに転換して考えてみてください。どうしてもこの世を、正しいか正しくないか、どっちが強いか弱いか、ということで認識しようとするんですが、エネルギーという純粋なものに絞ると、心地よいか心地悪いか、何かを生み出す力があるのかそれとも何かを破壊するのか、という認識になります。もっと解りやすいいえば、愛という言葉。愛があるということは、ここに心地良さがある、優しさがある、そして何か生まれる、無限に生まれる。愛がないところは寒々しい、とげとげしい、なんか暗くなる。

マザーテレサもどれだけ心を込めたか、愛を込めたか、そういうことが重要だと言っております。百万円寄付するか五十円寄付するか、みんなレベルがそれぞれありますが、その百円玉に、あるいは百万円に、どれだけ愛のエネルギーを込めたか。日本という国の世界への貢献、これもどれだけ愛を込めて行っているか。さまざまなお助けをする、しないと言っておりますが、根本は何でしょうか。根本に、怒りや恐怖やおそれ、やられてたまるもんかみたいなものがあるならば、愛が欠けている。愛に満たされていると、おのずと行動言動が違ってきて、そしてなんと相手もわかる。愛の場ができますから。場、磁場。電磁波の波が、場ができています。ここに今、愛の波動が充満していれば何か心地良い。

僕は自分の肩書を絵本作家・画家・詩人と言っております。これは社会的な役割、肩書でした。だけどだんだん自分の肩書というか、自分が一体何者かといったら、光、空気、水。それが僕だと思うようになりました。と同時に、他の人を見ても、他の

人が人間のこういった姿かたち、人間のように見えるけれども、僕はどうもそれを透かして、その奥その人の魂や精神、人間性、精神性を感じとりながら視覚的には相手を見ながらいろいろ聞きます。

会話も、共通認識としてしゃべっているようだけれど、実は会話の言葉の内容も関係ない。誰かと僕がいる、そしてその会話があるとき、その会話の内容が問題でなくて、2人がいるその状況、それが先ほども言った通り、愛に包まれているか、あるいはちょっとどこちなさに包まれているか、その方に関心があります。「あれ知ってますか」「知ってます知ってます」「あれいいですね」とか、それは2人が何か合っているような感じだけれども、口先だけで心が繋がっていないければ、そこには愛が欠けているということになります。ですから、自分自身の存在も対人関係も、本当のところ本質のところでは響きあいたいなど、そういうふうには思っております。のちほどの朗読の言葉も、内容を脳が判断するのではなくて、その言葉の持っているエネルギーを感じとりながら聞いていただいて、それが自分の体や心に細胞にどういう影響を与えるか、それを感じていただきたいと思えます。

お母さんお父さんがいて子どもがいた場合、お父さんとお母さんが喧嘩をしていると子どもが落ち着かない。子どもになんだかんだ言っているわけではないんだけど、両親がいがみあっていると、その家の中は落ち着かない。そして人間界が落ち着かないと、動物界もペットたちも落ち着かない。全人類的に地球規模で人間がざわついていると、それは地球規模の何か揺れ動きが起こる。みんな繋がっている、世界と自分は繋がっている。家族とだけ繋がっている、DNAだけで繋がっていると思いません。

オーラという言葉があります。アウラ、アウラは漢字で訳すと霊気です。スピリチュアルな振動が色で伝わってくるわけです。家の中もそう。街の在り方もそう。目に見えない、それを感知する機械はまだできてないかもしれないけど、わかると思えます。気持ちが良い、気分が良い、気色ばむという言葉もあります。気に色がついている。やはり古来、人々はいろんな状態、心の状態、世界の在り方を、繊細な部分を感じとって、そしてそれに言葉を当てはめてきたようです。

● ディープインパクト

われわれ人間は七色の範囲内の光線しか見えないし、36.5度前後でしか生きられない。酸性、アルカリというものも、ある範囲内で生きている。ほん

とに狭い範囲で生きているのに、世界全体を知っているみたいなふりを人間はする。か細いものです。はかないものです。しかしまた素晴らしいものです。こんなに狭い範囲で生きている。そこに喜怒哀楽、喜びも悲しみもさまざまな出来事がある。この宇宙の中でも先程も言ったとおり、何百光年のもつと無限の中のぼつんとした天の川銀河、太陽系、そして地球。地球の中の熊本。実はアインシュタインと僕の脳は、アインシュタインと皆さんの脳は、ほとんど変わらないそうです。ただそれをどれだけ活用しているかだそうです。朝起きる、自動的に起きる。歯を磨く。朝食、お通じ。で、電車に乗る。車に乗る。「あの考えましたか?」「いや、気が付いたら会社にいる」いや考えなくてもそんなことできるんですよ。だから考えない習慣がついている。

けれど、まさにアインシュタインが言った「この問題は考えても考えても答えがでない」そういうもの世の中にたくさんあります。無理して出した答えは、人間的なレベルでやっとならしたレベルで、本当に正しいかどうかわからない。世の中に起こっているさまざまなことには、人知で考えられる限度がある。科学者だけが一番頭がいいわけではない。そういう人間の普通に脳を使ったレベルの頭の良さの問題ではなくて、それを突き抜ける。そこに新しい天地が広がる。それはもう、考えて出来ることではない。ふつとした拍子に、というわけです。

インスピレーションです。靈感と言ったりもします。村上和雄さんという遺伝子工学の博士がおっしゃったのは、遺伝子もそうだそうです。遺伝子の97.8%は眠ったままだそうです。2.3%でも生物として人間として生きていけるそうなのです。でも何かがあると、これは大変だということで細胞が目覚める。遺伝子が目覚める。そのきっかけがさまざまにあるわけです。なんと脳も遺伝子も我々は1、2、3%程度で生きている。起きて生きていると思っても、実は眠っているみたいなものです。本当の目覚めは、いのちの危機というところまでいった先にある。アウェアネス、気づき、エンライトメント、光が当たる、光明を得る、皆さんがわかりやすい言葉で言うと悟りです。悟りの境地というのがある。それには人生上のいろんなディープインパクトな出来事があるほどそうなります。

今日この話は、あんまりディープじゃないけれど、半分くらいは皆さんに感じとっていただければと思います。どうもありがとうございました。

感謝報告

ご支援ありがとうございます。

熊本のちの電話は多くの皆様に支えられています。
感謝をもってご報告させていただきます。

寄付感謝報告

(平成27年12月4日～平成28年2月29日)

法人・団体の部

(敬称略・順不同)

(医)愛育会 福田病院 アーク・リソース株式会社 インマヌエル熊本キリスト教会 おむすび太郎 北里総合法律事務所 熊本キリスト教連合婦人会 公益財団法人 熊本善意銀行	熊本YWCA (有)コームヨシモト 香覚寺 (有)高翔 セベ産科用品株式会社 (株)たしろ住設 日本キリスト教団 錦ヶ丘教会	日本基督教団 熊本草葉町教会 (医)野尻会 日隈眼科医院 メガネの大宝堂 YMCAチャリティゴルフ会 野尻 明弘 日隈陸太郎 布田 昭
---	--	--

個人の部

(敬称略・順不同)

荒木 孝 憲 青木 悟 池田 菖 子 井上 新	上田 昭 八 悦 正 治 江藤 良 純 大野 亮 三	小野寺 徳 雄 片桐 清 志 鴻江 友紀子 立山 明 子	野田 馨 濱田 宏 子 原田 敬 子 平井 誠 一郎	開 由美子 古 莊 紀 代 芳 賀 克 己 前 田 克 彦	宮崎 文 匿名 3 名
----------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	--	----------------

募金式自販機寄付

(平成28年2月29日設置中のもの)

(敬称略・順不同)

九州電機工業株式会社 中村整形外科	(株)九電工 池田事務所	菊陽レディスクリニック 福田病院	九州ルーテル学院大学 孔子の里	寺尾会寺尾病院 機能病院
----------------------	-----------------	---------------------	--------------------	-----------------

ご支援いただいている自販機は17台で、平成26年12月設置以来 募金額の累計は196,145円になりました。
募金式自販機についてご協力いただける方はお知らせください。

古本寄付

(平成27年12月9日～平成28年1月21日)

(敬称略・順不同)

赤星 敦 / 坂本 一生 / 平田 亮子 / 中村 頌子 / 青木 孝子 / 野田 馨

古本による寄付は平成26年1月開始以来平成28年1月末で累計額は 82,750円になりました。
古本寄付の方法はHP参照 または事務局にお問い合わせください。

活動報告

養成講座後期修了式

平成27年度電話相談員養成講座の後期課程を、15名の方が修了されました。3月8日に熊本YMCA中央センターにおいて修了式が行われ、福田理事長よりお一人お一人に修了証が授与されました。

これまで約1年にわたり、電話相談に関する様々な講義を受け実践を想定した研修を重ねてこられた受講者のみなさんは、この4月から実習期間に入ります。実際の相談電話を受けながら更に研修を続けて、1年後の相談員認定を目指すことになります。

実習の期間も、第32期生とともに学ぶ方々と励まし合いながら、深い苦しみを抱える電話の向こう側の人々を支える力をつけて頂くよう期待しています。



電話相談件数

平成27年1月～12月13,724件(内自殺志向 1,303件)

	年代別受信件数			自殺志向		
	男性	女性	計	男性	女性	計
小学生	1	0	1	1	0	1
10代	346	48	394	26	17	43
20代	832	461	1,293	66	66	132
30代	1,365	1,246	2,611	104	171	275
40代	1,566	1,724	3,290	150	213	363
50代	973	1,817	2,790	93	181	274
60代	1,078	970	2,048	81	63	144
70代	97	145	242	7	10	17
不明	697	358	1,055	27	27	54
合計	6,955	6,769	13,724	555	748	1,303

分野		分類別受信件数			自殺志向		
		男性	女性	計	男性	女性	計
人生	人生	1,307	1,051	2,358	178	156	334
	思想・人権	50	39	89	1	7	8
経済社会	職業	332	262	594	26	10	36
	経済	98	120	218	19	12	31
家族問題	家族	554	914	1,468	61	117	178
	夫婦	254	321	575	7	30	37
人間関係	教育	32	60	92	2	6	8
	対人	386	772	1,158	19	40	59
保健・医療	男女	442	342	784	9	23	32
	身体	649	363	1,012	39	43	82
その他	精神	1,577	2,103	3,680	184	296	480
	情報	51	63	114	0	4	4
合計	その他	1,223	359	1,582	10	4	14
		6,955	6,769	13,724	555	748	1,303

養成講座 受講生の募集

第33期熊本いのちの電話相談員養成講座の募集を開始しました。

募集人員 40名 / 23歳以上

講座日程 1年次…毎週火曜日 午後6時30分～8時30分 場所 熊本YMCA中央センター(熊本市中央区新町1-3-8)
 前期 2016年5月10日～9月13日(講義とグループ体験)
 後期 2016年10月4日～2017年3月21日(講義とロールプレイ・泊研修)
 2年次…電話担当実習 2017年4月～2018年3月(電話担当とグループ研修)

受講料 1年次…前期 1万5千円、後期 1万5千円(別途一泊研修費8千円が必要です)
 2年次研修…6千円(グループ研修費用)

応募締切 2016年4月30日(土)

募集要項を準備しています。事務局までお問い合わせください。

チャリティ公演のお知らせ

今年もチャリティ公演を開催いたします。ご来場をお待ちしています。

親子で楽しむ くまもと 芸術・音楽祭

2016年8月7日(日) 市民会館崇城大学ホール 大ホール 開演: 18時30分(終演: 20時30分)
 出演: ザ・わらべ、こわらべ、花喜楽 / ORANGE / 音の和 MUSIC / 熊本県吟剣詩舞道総連盟
 熊本県太鼓連盟選抜ジュニア太鼓チーム / 碩台小学校和楽器クラブ with ことチェルトジュニア
 総合演出: 中村花誠

●チケットのご予約をお受けいたします。●

大人 *前売2,000円、当日2,500円
 子ども(中学生以下) *前売1,000円、当日1,300円

★★パンフレットへの広告掲載の
 ご協力もお願いいたします。

「通信」 配布先のご紹介のお願い

いのちの電話活動を広く知っていただくために、
広報誌「通信」を読んでいただける方をご紹介ください

熊本いのちの電話の活動を広く知っていただくために、広報誌「通信」の配布先を拡大することになりました。読んでいただける方をご紹介いただけませんか。

お知り合いや友人、職場など熊本県内であればどなたでも結構です。読んでいただける方がおられましたら、事務局へお名前と住所をお知らせください。年3回広報誌を無料で郵送させていただきます。

小冊子で要望の方へ無料配布のお知らせ

「心がつらいとき開く本」を無料で配布いたします

自殺予防対策として、ストレスなどで心が疲れた時に開いていただきたい小冊子を作成いたしました。昨年、広報誌「通信」と一緒に郵送しましたので、ご覧になった方も多いと思います。一部の方から余分にいただけないかとの声もありましたので、ご希望の方に配布することにいたしました。

内容はつらい時に心が癒される写真や言葉、精神科の先生からのアドバイス、いのちの電話の相談員の心情などで構成されている40頁のポケット版の小冊子です。

一人でも多くの方に手に取っていただきたいと願っています。ご希望の方は事務局まで連絡ください。



* 編集後記

2016年4月号をお届けします。昨年10月に私たちの30周年記念講演会を行い、熊本出身の絵本作家・葉祥明先生のお話をお聞きしました。その時の様子をお伝えしたいと全面的にその内容で構成しています。人間といのちへの温かいまなざしをそそがれる葉先生のお言葉はとても静かで力強いものでした。私たちの活動もいのちを守る社会的な一助となるようこれからもがんばっていききたいと思います。

事務局日誌

平成27年12月4日～平成28年2月29日

27年12月	3日	研修委員会、東京エレクトロン九州寄付贈呈のため来室
	11日	運営委員会
28年 1月	7日	研修委員会
	8日	運営委員会
	12日	「通信53号」発行
	15日	チャリティ公演検討委員会
	17日	熊本いのちの電話新年会 紅蘭亭
	18日	開局30周年委員会
	26日	西日本新聞より取材、八代市広報担当課より取材
	28日	開局30周年委員会
	30日	りんりん40号 発行
2月	3日	熊本県福祉のまちづくり室より来館監査
	4日	研修委員会
	8日	開局30周年委員会
	12日	運営委員会
	13～14日	第32期養成講座一泊研修 阿蘇
	15日	熊日より取材
	20日	チャリティ公演出演者との第1回打合せ
	25日	開局30周年委員会
	26日	予算委員会

※毎月10日 フリーダイヤル(10日08:00～11日08:00まで)
※第1木曜日 定例研修委員会、第2金曜日 定例運営委員会



社会福祉法人 熊本いのちの電話

事務局

〒860-8691 熊本中央郵便局私書箱155号
TEL096-354-4343

発行人: 福田 稔 編集: 広報委員会

熊本いのちの電話

検索

赤い羽根共同募金配分金により作成したものです。